

March 29, 2010

JAWIC

Seattle News

EACOM ティンバー社がドムタール社の木材部門買収へ

カナダ第2の大手総合林産企業ドムタール社（本社ケベック州モントリオール）は木材部門の売却を検討していたところであるが、3月29日 EACOM ティンバー社（本社BC州リッチモンド）と基本合意に達したと発表。今後、ドムタール社はコアビジネスと位置づけているオフィス用印刷紙部門に特化するものと考えられる。EACOM 社が獲得するのはいずれもカナダ東部の8製材工場で、その年間生産能力合計は約225万 m³である(表)。イアーフォールズ工場およびサントマリー工場は現在操業休止中である。これに加えて、ケベック州サリバンの再割工場およびオンタリオ州ソールトサントマリーのエンジニアドウッド合弁企業アントニードムタール社のドムタール社持ち分も取得する。EACOM 社は1月にドムタール社のサスカチュワン州ビッグリバー製材工場（年間生産能力2.5億 BM, 約59万 m³、2006年から無期休止状態にある）を買収済みであるので、今回の取引が成立すれば（6月中予定）EACOM 社の年間製材能力合計約280万 m³となる。ドムタール社が保有する州有林の伐採権年間約350万 m³も各州政府の許可を得て移譲される予定。なお、EACOM 社は取引成立後には本社をモントリオールに移転すると伝えられている。

表：EACOM 社が買収予定のドムタール社製材工場

工場所在地	州	年間生産能力（100万 BM）
イアーフォールズ	オンタリオ	190
エルクレイク*	オンタリオ	100
ゴガマ	オンタリオ	65
ネアンセンター	オンタリオ	130
ティミニス	オンタリオ	140
マタガミ	ケベック	100
サントマリー	ケベック	70
ヴァルドール	ケベック	160
計		955BM(約225万 m ³)

*ドムタール社の持ち分(66%)を獲得。

EACOM ティンバー社は2年前にリックドーマン氏 (BC州コースト地区の大手ドーマン社、後のウェスタンフォレストプロダクツ社の社長を務めた) が立ち上げたもので、今回の買収により製材業界への返り咲きを狙っている。米国の住宅建築は1-2年もすれば力強さを取り戻し、製材需要が増大するが、供給はタイトになってくると想定し、安く工場を買える今が投資チャンスと決断したものであろう。過去10年間、BC州インテリア地区でマウンテンパインビートル被害木の利用が進められてきたが、原木供給は2015年にピークを迎えその後は下降線を辿り、2018年までには16工場が閉鎖を余儀なくされるだろうとの予測 (International Wood Markets Group レポート)、ロシアが丸太輸出税の引上げを2011年に実施に移し世界の針葉樹製材供給がタイトになるであろうとの予測等が背景にあったものと考えられる。